Vol.800　（月刊）毎月１日発行　Kenko Shinbun　2023年（令和５年）７月１日　無料

新健康協会では、新しい健康法を伝える「健康新聞」を毎月発行し、人間の持つ治癒力や適応力をお伝えしています。肉体的、精神的なことでお悩みの方もぜひ御一読ください。

健康新聞

発行所
発行人　新健康協会

〒813-0001
福岡市東区唐原６－７－１
TEL:092-661-1531
https://shinkenko.jp

次の御論文は、明主様（当協会の教祖）が、昭和二十三年に発表されたものであります。
世界平和と心身共に健全な人間作りを目指す活動に御理解を頂ければ幸甚です。

常識

そもそも、真の信仰とは言語行動が常識にはずれない事を主眼としなければならない。世間よくある神憑式や、奇怪な言説、奇矯なる行動等を標傍する信仰はまず警戒を要すべきである。ところが多くの人はそういう信仰をかえって有難く思う傾向があるが、これらは霊的知識の無い為で無理もないが、心すべきである。又自己の団体以外の人々と親しめないというような独善的信仰も不可である。真の信仰とは、世界人類を救うのが宗教の使命と信じ、自己の集団のみにこだわらず、排他的行動をとらないようにするのが本当である。丁度一国の利益のみを考え、他国の利益を無視する結果、惨憺たる敗戦の苦杯をなめる事になった終戦前の日本を鑑みれば分かるであろう。

私は信仰の究極の目的は、完全なる人間を作る事であるとも思う。勿論世の中に完全という事は望み得べくもないが、少なくとも完全に一歩一歩近づかんとする修養――これが正しい信仰的態度である。故に信仰に徹すれば徹する程、平々凡々たる普通人のごとくに見えなくてはならない。そうなるのは信仰を咀嚼し、消化してしまったからである。その人の言動が如何にも常識的であり、万人に好感を与え、何を信仰しているか分からないくらいにならなければ本当ではない。人に接するや柔らかき春風に吹かれるごとくで、謙譲に富み親切であり、他人の幸福と社会福祉の増進を冀うようでなくてはならない。私は常に言う事であるが、まず自己が幸福者たらんとするには他人を幸福にする事で、それによって与えらるる神の賜物が真の幸福である。然るに自己のみの幸福を欲し、他人を犠牲にするというがごときは、全く逆効果以外の何物でもない事を知るべきである。

御讃歌

命さへ　危ふき程の病きも
癒えて恵みに浸る嬉しさ

病きの　癒されたりし嬉しさよ
生命に代へる宝なければ

千億の　富にもまして嬉しきは
恙なみける身にしあるなり

八〇〇号に寄せて

本紙「健康新聞」もおかげ様で八〇〇号という記念の号を発行する時を迎えることが出来ました。

昭和三十年五月、「神之光新聞」として「創刊号」を発刊させて頂きまして以来、昭和三十四年五月より「健康新聞」と改題になり今日に至りましたが、今月まで六十八年間という長い年月が過ぎました。

その間、おかげ話六五〇〇名以上、その他の寄書一〇〇〇名以上と、たくさんの方々から感謝の御報告が届けられ、掲載させて頂きました。

この「健康新聞」を御覧になって御縁を頂かれ、救われた方々も多数おいでになり、その感謝の御礼御報告も掲載されました。

何と申しましても、『浄霊』を頂いて元気になられた感謝の御礼御報告が、すべて事実に基づいた本人手記、また本人証言のものでありますから、感動と共に多くの人の心を揺り動かすものとなっております。

これからも「健康新聞」は人類救済のための「機関誌」として、永久に発行されることでありましょう。

現在「健康新聞」は英語、フランス語、イタリア語、ポルトガル語、ネパール語、中国語と、各国語による出版も行われております。これからも益々世界に羽ばたき、「天国の福音」は普く述べ伝えられることでありましょう。スタッフ一同、より一層の精進をお誓い申し上げる次第でございます。今月号は特集号として八ページ構成となっております。

有難うございました。

新健康協会　会長　木山峰秀

新健康協会とは

病気、貧乏、争いの無い世界、人類の幸福を最大の目標とし、心身の健康と霊性の向上を目指した「浄霊」活動と、「自然農法」による食の安全を実施し、また「美術・芸術」による魂の向上に努めています。

生命の芸術

９年前に「腎臓結石」、「腹部大動脈瘤」と言われ、その後には「膀胱ガン」と診断された菊田さんは、ショックで立ち直ることが出来ない時、自宅の机の上に置いてあった『健康新聞』を見て浄霊を試されました。
浄霊によって奇跡を頂いた菊田さんは、絶望から救われ、現在は元気に生活をされています。

膀胱ガン

ガンが消えて先生驚かれる

札幌支部
菊田博志（75）

私が支部にはじめて足を運んだのは、健康新聞がきっかけでした。
これはまだ浄霊を知る前のことですが、二〇一四年九月の暑い日に、突然下腹部に激しい痛みと、立っていられない程の怠さに襲われたので、病院で検査をしたところ、「腎臓結石」と「腹部大動脈瘤」と言われました。しかし腎臓結石はまだ小さかったため放っておいても治ります…と言われました。腹部大動脈瘤は造影剤を入れて検査をしましたところ、三・八センチと言われ、まだ小さいので手術出来る大きさになるまで待つということでした。
それからも尿の出が悪く、再度医者に診せると、なんと「膀胱ガン」と診断されたのです。
ガンが小さかったことから、目立つところだけを取り除き、小さくて奥の方にあったものは薬で対応することになり、真面目に治療を受けました。しかし、自力で尿を出すことが出来なくなっていたため、四十センチくらいの管を尿道に差し込み、尿が出るのを待っていた状態でした。これもまた、痛みを伴い、出血することも多々ありました。それから生検したところ、悪性のガンであることが分かり、十二月に再手術をすることになりました。しかし、手術も二度、三度受けなくてはならず、「最悪の場合、尿道をとってしまうことになる」と言われ、ショックのあまり立ち直ることが出来ませんでした。
私は一時退院することにしました。

一枚の健康新聞が私の運命を変える

ふさぎ込んだ気持ちで帰宅すると、机の上に「健康新聞」が置いてありました。初めて目にしましたが、妻が私に読ませたくて置いてあるのだと思い、読んでみますと、色々な病気が浄霊を受けて良くなっている体験が載っていて、自分も〝浄霊〟を試したい！と思い、その日、札幌支部に行きました。
支部に行くまでは、ガンのことばかりを考えて気が重く、どこを歩いて支部へ着いたのか覚えておりませんでした。しかし浄霊を受けた後の帰り道は不思議にも心が軽くなり、気が重かった状態が消えていました。
また、浄霊を受けながら、薬毒の話を聞きましたので、薬を飲むのを止めてみようと思い、十二月の入院までは毎日支部に行き、浄霊を受けました。すると、体に変化が生じました。なんと、尿道に管を通さなくても自然と尿が出るようになったのです！ただただ有難いばかりで胸がいっぱいになりました。
それから約束していた日にガン検査に行きました。すると、看護師さんがびっくりした顔で、「菊田さん！先生が驚いています。ガンがすっかり消えているって！」と言って来たのです。奇跡がおきた瞬間でした。医者も説明がつかず、困惑していたようでした。本当に素晴らしい力に出会い、大きな奇跡を頂いたことに深く感謝しました。私は信じられない結果に驚いていましたが、回りにいた入院患者さんもいないのだと確信しました。
この奇跡を受け、私は二〇一五年の一月、協会に入会しました。
そして六月に大動脈瘤の再検査をしたところ、医者が「三・八センチだったのに、〇・二センチ小さくなっている」と言って、「変だなぁ」と首を傾げており、「間違っても小さくなることはない」と言っておりました。また、この時、検査技師の方から、造影剤は「毒」だと教えられたので、その後の検査は受けておりません。
浄霊を受けるようになって、元気に動けますので、本当に有難い毎日です。
明主様、心より感謝申し上げます。
（北海道札幌市）

8年前のネパールにおける大地震では8567名の尊い命が失われました。その日の地震で生き埋めになった20歳のレマンさんは奇跡的に救い出され、浄霊によって現在は元気で仕事をされています。

ネパール大地震

首から下が埋まり九死に一生を得る

ネパール・カトマンズ支部
レマン・バラ（28）

二〇一五年四月二十五日、ネパールの首都、カトマンズを中心に大規模な地震が発生しました。そんな中、私は明主様から命を救って頂く素晴らしい奇跡を体験しました。
その日、私は外出していました。そしてちょうどお寺の側を歩いていた時でした。急にゴォーという大きな音とともに辺りが揺れ、立っていることも出来ない状態になりました。
一瞬の出来事でした。
お寺の建物はバラバラに崩れ落ち、側を歩いていた私は瓦礫の下敷きになってしまいました。突然のことで何が何だか分からなかった上に、意識が低下してしまい、その後のことをはっきりとは憶えていません。救助してくれた人から話を聞くと、首から下が瓦礫の下に埋まっており、救助も難航したそうです。そして、ようやく瓦礫から救い出されると大量の出血があり、右の太ももの骨が見えていたそうです。そのまま病院に運ばれると、右の大腿骨、左足首、左腕が骨折していました。意識がなかった私はすぐに呼吸器を付けられ、集中治療室へと運ばれました。さらに、大腿骨骨折の破片が血液中に流れ、肺胞が詰まり呼吸困難にもなっていました。
生と死の間を彷徨っている間、母は明主様に御守護のお願いをしてくれました。時間にすると三十時間くらいあったそうですが、母はその間ずっと明主様にお願いし、浄霊をしてくれました。すると奇跡が起こりました！
なんと意識が回復したのです！
約三十時間なかった意識が戻り、それから徐々に回復していったのです！呼吸器を外して自分で呼吸が出来るまでになりました。医者からは安静が必要と言われ、それから半日は集中治療室にいました。その間も母は私を浄霊してくれました。おかげ様で、手術後も回復が早く、熱が出た時も浄霊で楽になり、地震が起こった二ヵ月後の六月には退院することが出来ました。
退院してすぐは車イスの生活でしたが、それも十五日後には歩行のリハビリが出来るようになり、一ヵ月後には車イスも必要なくなりました。
本当に奇跡でした。母も涙して喜びました。私は明主様に護って頂き、呼吸器も車イスも必要のない状態にして頂きました。
現在では生活に支障もなく、大学へも通っています。これからも、明主様に頂いた奇跡の体験を一人でも多くの方に伝えたいです。
（ネパール・カトマンズ市）

次々と襲ってくる病気に苦しみ、どんな治療をしても良くならなかった黄（ホアン）さんでしたが、友人が教えてくれた浄霊によって見事に健康を取り戻し、多くの人に自分の体験を伝えられています。

全身の痛み・歩行困難

苦しい人生から救われ喜びと幸せの生活へ

台湾・高雄支部
黄（ホアン） 美瑜（メイユイ）（51）

私は、まさに病気の問屋のように次から次といろいろな病気に悩まされました。

学生の頃から長期間胃痛のため服薬しましたが一向に良くならず、それどころか逆流性食道炎を引き起こし、ついには幽門ピロリ菌感染症で抗生物質を服薬することになりました。毎日、頭痛にも悩まされ、痛み止めは一錠から二錠、強力薬、特効薬と変えていかないと効かなくなり、苦しみが苦しみを生むようになりました。

十年以上前から、全身の痛み、手足の無力感、しびれ等、様々な症状が絶え間なく現れました。薬という薬は何でも試し、少しでも痛みが和らぐものなら何でも使いましたが、楽にならず、改善されることはありませんでした。すると、脊椎が横にずれているとのことで、二〇〇四年に手術を受けました。足から取り出した骨で腰椎を補強し、四本の釘で固定しました。ようやく全身の痛みから解放されると思いましたが、痛みが癒えることはなく、更なる苦しみの日々となりました。

腰を曲げる、立ち座り、歩行は思うように出来なくなり、階段の上り下りさえ難しくなりました。その後、二〇〇八年に腰を固定した釘を取り外す手術を受けました。その後は再び一日中全身が痛む日々が戻ってきました。

翌年には、首が痛くなり、腕の痛み、手指のしびれが始まりました。診察すると、手術で人工関節に変える必要があると言われましたが、また手術をしなければならないと思うと怖くなりました。

どうして私の人生はこんなに苦しいことが多いのだろう、毎日薬を飲み、毎日病院でリハビリや鍼（はり）治療をしなければならないのだろう…と疑問を持ち始めていました。

そんな時でした。同僚の陳麗真（ツェンリーゼン）さんから浄霊という健康法があって薬や医療に頼らずに健康になれると聞いたのです。暗闇の中に光を見たようで、試すしかない！と思いました。

初めて浄霊を受けた後、ひどい頭痛に襲われましたが、浄霊の先生に「体の痛み等は、体内の毒素を体外へ出す浄化作用で、体内の毒素が出ることで健康になれる」と聞いたので、その日は薬を飲みませんでした。すると、初めて薬を飲まないで頭痛を乗り越えることが出来たのです。私は嬉しくなって、これからも浄霊を続けていこうと決心しました。

ここ何年かで、発熱の体験も多々ありましたが、よく浄霊を受けると、たくさんのタンやハナが出て、その度に体が軽くなりました。浄霊のおかげで体の痛みやしびれも楽になり、長い間治療した胃や、それに伴う頭痛、二度にわたる腰椎手術での後遺症もとても楽になりました。

どんな医療でも良くならない重症患者だった私が、こうして新しく生まれ変わることが出来たのです。生活は一変し、自転車旅行や、仕事も精一杯出来るようになり、本当に浄霊にめぐり合えて良かったです。

私の体験が、たくさんの人に浄霊を知って頂くきっかけになることを願っています。

（中華民国台湾省・高雄市）

奇跡の生還

浄霊による奇跡 命をいただく…

アメリカ・ロサンゼルス支部
チャーリー・ジェームス（28）

24年前、4歳の時に大きな事故に遭って8メートルも飛ばされ、母親が諦めるほどに命の危険があったチャーリーさんでしたが、数々の奇跡と浄霊によって後遺症もなく、元気になられました。

僕は母親のお腹にいる時から、浄霊を受けてきました。

これは僕が四歳の時に体験したことです。僕はその日、兄や近所の子供たちと外で遊んでいました。彼らが道を渡ったので、自分も追いつこうと道を渡った瞬間、横から走ってきた車に、はねられてしまったのです。

その瞬間の記憶はないのですが、話によると、八メートルほど飛ばされ、頭から落ちたとのことでした。救急車が着いた時には心臓は止まっており、電気ショックをしないといけなかったそうです。

また、その時点での生存率は低く、脳内出血の血を抜くという手術がすぐに施されました。

母は「もう命は助からない…」と諦めの境地だったそうです。そんな時、すぐに明主様に御守護の御願いをさせて頂かないといけないと思い直し、支部に電話をかけ、その後は心の中で必死に明主様に御願いをしたそうです。

すると奇跡が起こりました！

なんと意識を取り戻すことが出来たのです。母はその時の感動を今でもよく覚えているそうです。また、幸いなことに日本の祖母（会員）もちょうどアメリカに来ていた時だったので、支部の先生と交代で、浄霊を一日中してくれたそうです。おかげ様で何の後遺症もなく、二日間という短期間で退院することが出来ました。

これからも浄霊を続けていきたいと思います。

明主様、有難うございました。

（アメリカ・ロサンゼルス市）

真実を求めて

２０２０年から始まった新型コロナウイルスによるパンデミックは世界を震撼させ、令和５年６月12日現在、世界で６８８万人以上の人が亡くなっています。

見えないウイルスによって、世界中の人々は恐怖の生活を余儀なくされ、それまでの日常は崩れてしまいました。

３年が過ぎて、ようやく元に戻ってきておりますが、コロナの後遺症や、ワクチン接種の後遺症で苦しんでいる人がたくさんいるのが現実であります。

数千年に亘（わた）って病気と闘ってきた人類は、未だに解決の糸口を見つけることが出来ず、四苦八苦しているのが現実で、何時になったら病気から解放されるのか全くの目途も立っていません。

それどころか、医学が進歩すればするほど、新薬が開発されればされるほど、病気も病人も増え続け、医療費は天井知らずで増えるばかりであります。

人類は、現実に現れている数字の真実に気付かず、従来の考え方から脱却できずに、暗闇の中で日夜研究に明け暮れているのであります。

明主様は、主神の神霊から浄化作用の真理を教えられ、『浄霊』という救いの力を与えられました。

『浄霊』は主神から発せられる偉大なる御光であり、会員によって行われている『浄霊』で多くの人が救われているのです。

一日も早く真実が明らかになり、病気の無い世界が実現することを願って私達会員は一人でも多くの人に真実をお伝えしたいと思っています。

会員が体験した事実の証言が本紙のお陰話でありますから、ぜひとも自分でご確認して頂きたいと思います。

68年間の歴史

創刊以来68年の歴史の中で、六五〇〇人以上の体験が掲載されました。海外からもたくさん送られて来ましたが、昔の記事から紹介します。（写真と年齢も当時のままです）

生まれて初めて普通の生活が…

フィエさん（中央後）と子供さんたち

フランス・パリ支部
フィエ・アンヌ（44）

難病の数々に苦悩の日々

私は生来のケイレン症でずっと苦しんでいました。医者は、治るという希望は何も与えてくれず、いずれ私が四十歳ごろには寝たきりになるのではないか…と思っておられるようでした。

この病気は、治す術がないことから、いわば永い間神経から来る病気だと見なされていました。絶え間ない不安、圧迫感に襲われ、耐えられないほどの疲れとなって表れるのでした。私には三人の子供がいますが、これまでどうやってこの三人を育ててきたのだろうか…と自問することさえありました。いつも晴れない霧の中にいるようなもので、朝起きるのも私にとって大変つらいことでした。買い物に行くことも出来ず、自分はこのまま死ぬのではないだろうか…という気持ちが常にあり、息が詰まりそうでした。また、手足や体が固くなり、動くのもおっくうになってしまいました。

三人目の子供が生まれた時、「カルシウムやマグネシウム、アミノ酸が欠乏している…」と言われて薬を服用しましたが、私の病気は一層ひどくなり、次々と変えた医療は、その時だけの効果しかありませんでした。どんな治療も決定的なものはなく、この世の中にある全てを探して回ったようでしたが、なお探し続けなければなりませんでした。また、子供達もそれぞれに苦しみを持っておりましたので、絶望的な日々を送っておりました。

◇

長女は十八歳になりますが、常に神経衰弱の状態で、十三歳の時から激しい生理痛に苦しみました。

次女は私と同じケイレン症で、大変神経質で極端に心配症の子供でした。大変痩せていて、自分の言いたいことが言えず、自分を外に向かって表現出来ない子供でした。

三番目の子供は、生まれてすぐ肺炎になり、生後三ヵ月よりシッシンが出て、二歳頃よりゼンソクになる…というように沢山の病気をし、一日三時間しか眠れませんでした。その頃、私の体重は三十九キロしかありませんでした。私達はどこにも行けず、特に三番目の子供が生まれてからはそうでした。息子は全てのものにアレルギーで、タバコの煙、ジュウタン、羽、ペンキ、他全化学物質にいつも神経質になりました。端的に言いますと、私達の生活は全く日の当たらないものでした。どうやってこの状態から出たら良いか分かりませんでしたので、諦めるより他にどうすることも出来ませんでした。

健康をいただき人生が変わる…

一九八九年三月二日、私は偶然にも友達より浄霊のことを耳にし、さっそくパリ支部へ行きました。そして、一度浄霊を受けた時から、もしかしたらこれで治るかもしれない…という気持ちになりました。私の人生では初めてのことでした。

その後、支部まで五十キロ離れていますが、私は週に二回支部へ行きました。それ以来、以前苦しんだ深い不安は一度も感じませんでした。早く起きられるようになり、ひどく疲れることもなく、立ち止まってしゃがみ込むこともなく、昼前に買い物にも行けるようにさえなりました。私にとって大変な奇跡でした。

さらに奇跡は続きました。

今、私には以前なかった力が沢山出てきました。普通に働き、生まれて初めて普通な生活をしています。

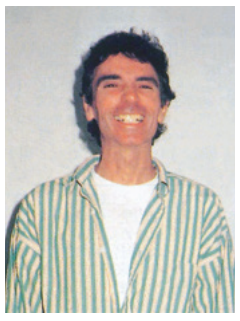
今まで何年医者にかかったことでしょう。平均すれば二週間に一回はかかっていました。

今、私達は健康を得て、自分の道を見つけました。人のために浄霊のお取次をさせて頂きます。

明主様の御守護により、私の人生は変わった…では言い足りません。私の人生はその意味を見い出し、以前には一度も味わったことのない幸せを満喫しています。この幸せを一人でも多くの人にお伝えさせて頂き、明主様の御用にお使い賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

（平成三年一月号から）

絶望から救われ人生に希望が…



アメリカ・ロサンゼルス支部
パトリック・ポール（41）

一九九〇年五月、私は「肺炎性の病気」と診断されて二週間入院しました。

八月の第一日曜日の午後、浜辺に行きましたが、具合が悪くなったので、足を引きずるようにしてアパートに帰りまして、すぐにベッドへ行きました。

私はこれからどうなるのだろう…とひどく絶望しまして、友人から教えてもらった電話番号にダイヤルすることを決心しました。それはロサンゼルス支部の電話番号でした。

私は足を引きずって支部に行きまして、浄霊を頂きました。そして私は驚きました。と申しますのも、最初の浄霊で、強い力がみなぎってきたのです。それは私にとっては大変ドラマチックなことでした。私は、生まれ変わったような感じで、希望が持てるようになりました。そして、足も引きずることなく歩き回れるようになりました。

私は、それ以来毎日支部に通いまして、時には一日二回浄霊を頂きました。

私の病気はすっかり良くなったようで、本当に元気になり、以前よりもずっと健康になった感じです。

浄霊をして下さった皆様、そして浄霊に導いて下さった聖母に感謝いたします。私を含め、あらゆる人々の病気が完全に治りますようにお祈りいたします。有難うございました。

（平成三年一月号から）

人救いこそが私のすべて…

ネパール・パタン支部
ナニチョリ・シャキヤ（40）

一九七九年九月頃より、私は頭痛に悩まされるようになり、良くなりませんでした。どうしようか迷っていた時、ナーラインさん（会員）から浄霊のことを聞き、一九八〇年二月、初めてカトマンズ支部に行きました。

一週間ほど浄霊を頂いたところ、ひどくなったので、どうしてだろうと思いましたが、「毒素が浄化しようとしての痛みだから、それを乗り越えると楽になる…」と言われ、辛抱していましたら二週間で楽になり、二ヵ月で完全に治りました。

私は浄霊の素晴らしさに感激し、さっそく入会を希望しました。

最初のうちは一日三～四人の浄霊でしたが、九年後、多い時は一日一〇〇人の浄霊があり、忙しい毎日になりました。私のような者が、苦しんでいる人たちを救ってあげることが出来るなんて、本当に有難く、明主様に何と感謝したらよいのか分かりません。本当に有難うございました。

これからも、私の命の続く限り、一人でも多くの人に浄霊をさせて頂きまして、明主様の人類救済のお役に立ちたいと願っています。

（平成二年八月号から）

自然農法を実践する

食の芸術

太陽、水、土―自然の恵みに感謝

自然４０年以上になる柴尾さんの田んぼ

荒尾支部
柴尾善博（74）

私は自身の農薬障害があったこともあり、自然農法を知った四十年ほど前から、自然農法でお米を育てるようになりました。

最初の頃は草取りが大変だったり、虫や病気の発生だったりで収量が上がらないこともありました。それでも自然農法を実行していきますと、年々収量も増えていきました。

おかげ様で、秋には黄金色に色づいた稲穂が田んぼ一面に嬉しそうになびいています（右写真）。これは自然の力でたくましく育った稲の姿そのものだと感じます。これからも大自然への感謝を忘れることなく、自然農法を実践していきます。

（熊本県玉名市）

佐賀支部
北村広紀（65）

私は三十年以上、自然農法でお米の生産を行っています。どうせ作るなら美味しいご飯をと思い、品種選定を行い、日本人が最も好む「コシヒカリ」を選択しました。そして、そのコシヒカリを三十年以上、自家採種しております。

毎年、同じ土地と同じ種を継承することで、年々美味しくなり、今では米を研がなくても美味しいご飯が出来るようになりました。

また、我が家の自然栽培米を使ったお味噌は味わいが良く、ダシがなくても美味しく頂けます。純粋な自然のエネルギーの凄さを感じています。私の家族（子や孫）が健康なのは、自然栽培米のおかげと思い、感謝しております。

（佐賀県佐賀市）

山鹿支部
小池祐生（68）

私が理想として現在行っている自然農法は、その田んぼや畑で収穫されたもの、例えば稲わらや、植物残渣だけを使用する…外から何も持ち込まないという栽培の仕方を採用しています。

自然農法で育った作物には、清浄な土壌から生まれた農作物の味、香り、日持ちの良さ、エネルギーなど、慣行栽培を遙かに超えるものがあります。消費してくださる皆さまから「自然農法でのお米や野菜を食べると元気になった」等の声も聴きます。何より私自身が、農作業をすることで元気になり、自然農法が出来る幸せを感じています。

父から始まった自然農法は、今年で四十年になる田んぼもあります。ただ稲わらを還元するだけで裏作も何も作らない自然田ですが、生産性が衰えることもなく、毎年実ってくれています。

太陽、水、大地に感謝しながら、これからも自然農法を楽しみます。（熊本県菊池市）

札幌支部
横山泰明（68）

私はこの十四年間、自然農法として教えて頂いたことの実践と試行錯誤の連続でした。開墾当時、耕作放棄地だった場所は、十年ほどでよく取れる畑に生まれ変わりました。

同じ畑で連作を行うと、土はその作物が育ちやすい土へと変わっていく…と教えて頂いていますので、私はジャガイモを連作しています。一般には、連作に向かないと言われていますが、十年ほど続けています。そのおかげでジャガイモは毎年変化し続け、年々大きなジャガイモが取れています。しかも美味しいです。作物を買って頂いた皆さまからも感謝と応援のメッセージを頂けます。それが一番の励みになっています。これからも自然農法を実行していきたいです。（北海道札幌市）

食は健康の基本

人間にとりまして、食べ物ほど大切なものはありません。食べ物によって人間の体は形成されているのですから、何をか言わんやであります。

食べ物の如何によって健康が左右されるのでありますから、体にいいものを食べなければなりません。

ところが、今の食べ物は怖ろしいほど化学物質に汚染されているのです。

多くの人が口にするお米や小麦、野菜、魚介、肉類といったものは勿論、今や子供や幼児の食べ物さえも汚染されています。

世界中で遺伝子組み換え作物や、ゲノム編集された人造肉、ホルモン漬けにされた牛肉、食品添加物…など、人間を取り巻く食生活の環境は最悪の状態になっているようであります。

日本では、ガンになる人が2人に1人という数字が発表されていますように、近年ではますますガンになる人が増えています。

最近、にわかに言われ始めた昆虫食でありますが、果たして人間の食物として自然に適っているのでしょうか？

地球上に誕生して以来、数百万年に亘って続いてきた人類は、その長い歴史の中で身に付けた知恵によって、食べて良いものと食べては良くないものを選別してきました。

自然に逆らったら、人間の健康は破壊されることになるでしょう。

政府も行政も食品業界も、国民を守ってくれないのですから、自分の健康は自分で守るより他に方法はありません。

新健康協会では、化学肥料や農薬を使わずにお米や野菜を作る「自然農法」を実施しています。

太陽と水と土で育った作物は体に優しく、実に美味しいものです。

自然に適った生活をしなければならないことを教えて頂いている私達は、これからも努力を重ねてまいりたいと思います。

美の芸術

美の殿堂へ ようこそ

聖地に美の世界がある

美の世界には芸術のパワーが良エネルギーとなって私たちをパワーアップしてくれる目に見えない素晴らしさがある。

ある時は安らぎを、ある時は貴重なインスピレーションになって感動が満ちてくる。

但し、作者のほとばしる魂の叫びがそこにあるから、芸術を楽しむには作者を選ばなければならない。

晴明会館は私たちの情操を高めてくれる貴重な作者の魂に出会うことが出来るパワースポットと言える。

パワースポット秘話
晴明会館参観者特典
聖地散策もできる

「晴明会館」がある福岡市東区唐原の新健康協会総本部は、門を入った瞬間に外の世界と全く世界を異にする自然美に思わずハッとする。

境内には木々や四季の花々はもちろん、仏師の向吉悠睦（むこよしゆうぼく）師、截金師中村佳睦（なかむらけいぼく）師により造物された千手観世音菩薩を祀った万教帰一館も拝観することが出来、総ガラス張りの先には福岡市が一望できる。この絶景だけでも一見の価値がある。

晴明会館

晴明会館は、教祖・明主様（岡田茂吉師）を信仰する新健康協会の聖地に「美の世界」を実現する信念のもと、１９８７年（昭和62年）に建設されました。

インド砂岩に包まれた建物に一歩足を踏み入れると、ローザオーロラの石肌や燦然と輝くシャンデリアから漂う建築美が皆様の心の癒しを演出してくれます。

当館には、「芸術は人間の情操を高め、生活を豊かにし、人生を楽しく意義あらしむるもの…」と説かれた教祖の思いが脈打っています。

日本画、浮世絵、洋画、陶磁器、工芸品など優秀な芸術家の収蔵作品を企画展示しています。

さらに、宗教画家「杉本哲郎」によるキリスト教、イスラム教、仏教など宗教発祥の地ヒマラヤを起源として世界に広まった十大宗教をテーマとした「世界十大宗教壁画」の連作がございます。

「世界の宗教は一つになって、地上天国は建設されなければならない…」という教祖の思いを祈念致しまして常設展示しています。

自然の美と建築の美で演出された美の殿堂へ、これらの素晴らしい美術品を一人でも多くの方に楽しんで鑑賞して頂き、心を清め、安らぎや幸福を与えられる会館となりますよう祈願致しております。

貴重な収蔵品の数々

【日本画】
鈴木其一『四季草花之図』
川合玉堂『早春』
伊東深水『縫針』
絵巻伊曽保物語
岩佐又兵衛『車争之図』
狩野安信『源平合戦絵巻』
作者不詳『京都風俗絵巻』
宮本武蔵『破墨山水画』

【浮世絵】
歌川広重『名所江戸八景』『近江八景』全八作
菱川師宣『若衆と娘』
葛飾北斎『七夕図』

【洋画】
ローレンス・アルマ・タデマ『別れのキス』
藤田嗣治『裸婦』
坂本繁二郎『庭』
青木　繁『舞子』

【工芸】
中里無庵『青唐津叩き壺』
柿右衛門『色絵秋草菊花文輪花鉢』
十三代今泉今右衛門『色絵珠樹文額皿』
エミール・ガレ『草花文花瓶』
松田嵒山『備前花入』

【杉本哲郎作品】
『世界十大宗教壁画』連作

他、約一五〇〇点収蔵

晴明会館

「暮らしと花鳥風月」前期展
期間：6月1日(木)～12月13日(水)
※晴明会館お問い合わせ
☎(092)661－1535

主な収蔵品

「車争之図」**岩佐又兵衛**（1578 年 ～ 1650 年）

「京都風俗絵巻」（部分）**作者不詳**

「七夕図」**葛飾北斎**（1760 年 ～ 1849 年）

「若衆と娘」**菱川師宣**（1618 年？～ 1694 年）

「婦人相學十躰」之内《指を折る女》
喜多川歌麿
（1753 年 ～ 1806 年）

「名所江戸百景」
《大はしあたけの夕立》
歌川広重
（1797 年 ～ 1858 年）

「桜見物絵巻」（部分）**宮川長春**（1682 年 ～ 1752 年）

「青唐津叩き壺」
中里無庵
（1895 年 ～ 1985 年）

「色絵珠樹文額皿」
十三代今泉今右衛門
（1926 年 ～ 2001 年）

美による魂の向上をめざして！

人間は、芸術・美術・芸能などを鑑賞することによって自らの情操を高めると共に、魂の向上にもなります。

絵画、彫刻、陶磁器、演芸、音楽などは、その芸術性の高さによって、観る者・聴く者をして喜びの世界に誘（いざな）ってくれるものでなければなりません。

現代の芸術、美術などには、その輝きにおいて、昔の作品にあるような、観る者を圧倒し、魂を揺さぶるような作品は少ないように感じざるを得ません。

数百年前の人たちの作品には、筆力、表現力の豊かさ、感性の深さなど、作品から受ける芸術性の見事なまでの完成度は、現代の人も及ばないものを感じます。

見た瞬間に美しさを感じ、感動を与え、魂の向上に資する作品であってこそ、作品としての価値があるのでしょうが、その点で言えば、昔のほうが、感動させるものが多くあるように思われます。

芸術の目的は、美によって人の心を高め、品位を向上させることであり、そうでなければ社会的な価値はなく、現代の作品の多くはその力を失っているのではないか…とも思われてなりません。

新健康協会の境内に建つ「晴明会館」は、あくまでも「美」を追求していく姿勢をもって、収蔵品約一五〇〇点の入れ替えをしながら、観覧者の魂の向上に資する作品を展示する事を最大の使命と心得、人間の情操、品性を高めることを目的として、今後も取り組んで行きたいと思います。

病気は何故起こるか

病気とは何ぞや…という事ほど、幾千年来、人類の頭を悩ました問題はないであろう。この謎を解こうとして、今日まで全世界幾万の医師及び医学者が、その一生を捧げて来た事であろうか…。然るに今以ってこの謎を解き得た者はないのであるから、その煩悶（はんもん）、焦燥は如何ばかりであろう。然るに現在までの説き方によれば、漢方医学においては、五臓六腑の調和の乱れと言い、西洋医学においてはウイルヒョウの細胞衰滅説、コッホ及びパスツールの細菌説であって、今日までのあらゆる学説は一様に〝病患なるものは健康の破壊〟となし、究極において生命を失うもの…とされているようである。

また宗教においては〝神の戒告〟或いは〝罪穢に対する刑罰〟ともされている。従って、病気とは恐るべきもの、悲しむべきもの、呪うべきもの…とされているのであるが、実は病気とは神が人間に与えた自然の生理作用なのである。

明主様（浄霊法創始者）は、過去数十年に亘り浄霊法を実施中、実に驚くべき事実を発見し、愕然とされた…ということである。それは恐らく今日まで、世界の誰もが発見したという事を聞かない一大事実であったのである。

即ち、病気とその原因が想像もつかない、実に意外な処にあることを知られたのである。そうしてそれは、はっきり知れば知るほど、現代医学の理論とは全く相反するものであったのである。今日医学は驚くべき進歩を遂げつつあるとされている。あらゆる文明国人が些かの疑いもなく信じてしまい、各国の政府も国民もこれを基礎として、それぞれその国の保険政策を立てて、あらゆる病原は一つ一つ解明され、病気の問題は次第に解決されつつある…と考えているようであるが、これは些か見当違いというべきであろう。幾多の事実が、医学の進歩とはおよそ反比例しつつあるのは何故であろうか？これは要するに、まだ発見されない処の、大きな原因が潜んでいるのではなかろうか…。

およそ人間がこの世に生を受けるや、種々の毒素を保有していることは、既に本紙をもって幾度も述べて来た通りであるが、これらの毒素の支障によって、健康が完全に保持出来ないから、生理的に体外に排出されるように、絶えず自然浄化作用が行われている。その場合、ある程度の苦痛が伴うので、その苦痛過程を称して病気というのである。

故に、人間の健康は自然浄化作用によって保持され、寿命は延長されるのであるから、むしろ感謝すべきものなのである。これを一層精（くわ）しく説いてみると、まず浄化作用であるが、第一浄化によって、血液中にある種々の毒素が、身体各局所に集溜固結するのである。集溜毒素は時日を経て漸次硬化する。俗に凝りというのもそれである。次に第二浄化であるが、これは第一浄化による固結がある程度を越える場合、自然に排除作用が発生するのであるが、その際排出し易いように液体化しようとする作用が起こる。即ち発熱である。そうして液体化した毒素は、発汗、咳、吐痰、鼻汁などによって体外に排出されるのであるから、何の手当も施さず、服薬もせず浄霊に任せれば、順調に浄化作用は行われ、短時日に治癒するのである。このように自然治癒であれば、保有毒素は軽減されるから、それだけ健康の度は増すのであるが、この原因に不明である医学は、浄化作用の場合、医薬をはじめ種々の方法を行う。その方法とは徹頭徹尾浄化作用の停止であり、第二浄化の状態を第一浄化の状態にまで還元せしめるのであって、この還元治療による薬剤使用その他の浄化停止方法がより増悪の原因となり、小患で済むべきものを大患にまで発展させている現代人は、誠に哀れむべきである。

以上病気とは如何なるものであるか大体お分かり頂けたと思う。

（健康新聞２５１号 昭和52年２月１日発行 主張より）

新健康協会総本部

福岡市東区唐原６丁目７―１　TEL（092）661―1531（代）

北海道
札幌支部　札幌市中央区南14条西13―2―45　TEL（011）561―7839
清田支部　札幌市清田区清田1条3―3―29　TEL（011）888―2282
旭川支部　旭川市新富1条3―11―10　TEL（0166）25―4962
帯広出張所　帯広市西15条南2―4―10　TEL（0155）36―4823

東京
東京支部　東村山市栄町1―8―2　TEL（042）391―6220
品川支部　品川区東五反田3―15―17　TEL（03）5424―9001

埼玉
大宮連絡所　さいたま市大宮区土手町3―8―1 加藤ビル202号　TEL（048）644―5707

千葉
千葉支部　千葉市稲毛区園生町989―10　TEL（043）285―3958

神奈川
横浜支部　横浜市旭区笹野台3―53―3　TEL（045）361―7738

愛知
名古屋支部　日進市梅森台1―133　TEL（052）805―2411

奈良
桜井支部　桜井市粟殿15―5　TEL（0744）43―8400
平城支部　奈良市西大寺野神町2―3―7　TEL（0742）47―9356

大阪
高槻支部　茨木市橋の内2―7オークタウン東茨木5―206　TEL（072）663―6651
八尾支部　八尾市渋川町4―10―5　TEL（072）924―6573
堺支部　堺市北区東雲東町4―2―11　TEL（072）255―2755
豊中出張所　豊中市原田元町1―22―10　TEL（06）6841―0056

兵庫
神戸出張所　神戸市垂水区山手4―4―17　TEL（078）751―2630

岡山
岡山支部　岡山市中区高島新屋敷515―13　TEL（086）275―6500

広島
広島支部　広島市西区庚午中4―8―3　TEL（082）272―2776

山口
周南支部　周南市福川2―2―19　TEL（0834）64―5760
下関出張所　下関市伊崎2―5―20　TEL（0832）32―4698

愛媛
西条支部　西条市大町570―3　TEL（0897）55―3527
松山支部　松山市山越1―2―45　TEL（089）924―0726

福岡
小倉支部　北九州市小倉北区大田町8―1　TEL（093）512―7567
若松支部　北九州市若松区白山1―9―44　TEL（093）751―1622
西八幡支部　北九州市八幡西区永犬丸東町2―6―15　TEL（093）613―0465
芦屋支部　遠賀郡芦屋町正門町12―11　TEL（093）223―0901
宗像支部　宗像市自由ケ丘3―2―7　TEL（0940）32―1108
福津支部　福津市中央6―21―16　TEL（0940）43―5831
香椎支部　福岡市東区松香台1―22―32　TEL（092）681―1509
篠栗支部　糟屋郡篠栗町津波黒3―17―26　TEL（092）947―1193
福岡支部　福岡市中央区谷2―16―25　TEL（092）781―5067
南福岡支部　福岡市南区平和1―4―1　TEL（092）522―3220
白木原支部　大野城市白木原2―3―5　TEL（092）581―4982
志免支部　糟屋郡志免町志免3―11―2　TEL（092）935―1051
直方支部　直方市大字頓野3856―3　TEL（0949）26―5516

福岡
田川支部　田川市大字伊田3879―1　TEL（0947）42―5051
飯塚支部　飯塚市片島2―18―10　TEL（0948）22―4918
嘉麻支部　嘉麻市中益8689　TEL（0948）57―2056
久留米支部　久留米市国分町1462　TEL（0942）22―4773
大牟田支部　大牟田市鳥塚町7―5　TEL（0944）53―3179

佐賀
佐賀支部　佐賀市天神2―3―28　TEL（0952）23―8063
唐津支部　唐津市大名小路2―22―2　TEL（0955）72―5756
鳥栖支部　三養基郡みやき町白壁4399―5　TEL（0942）89―1352
伊万里支部　伊万里市南波多町井手野3847　TEL（0955）24―2021
武雄支部　武雄市武雄町大字昭和309―3　TEL（0954）23―5792
鹿島支部　鹿島市大字納富分甲219―1　TEL（0954）62―4749

長崎
長崎支部　長崎市緑町13―11　TEL（095）846―4273
平戸支部　平戸市木引町384―2　TEL（0950）23―3639
佐々支部　北松浦郡佐々町八口免633　TEL（0956）62―4705
佐世保支部　佐世保市万徳町6―26　TEL（0956）22―2046
早岐支部　佐世保市広田1―39―21　TEL（0956）20―5077
川棚支部　東彼杵郡川棚町百津郷3322―12　TEL（0956）82―2284
諫早支部　諫早市山川町20―5　TEL（0957）25―1857

熊本
熊本支部　熊本市中央区新大江3―7―22　TEL（096）383―4918
山鹿支部　山鹿市熊入町978　TEL（0968）43―3170
荒尾支部　荒尾市西原町3―1―26　TEL（0968）62―3418
芦北支部　葦北郡芦北町大字芦北2058―7　TEL（0966）82―2801
八代出張所　八代市西宮町1038　TEL（0965）31―0467

大分
大分支部　大分市日岡1―9―16―1　TEL（097）556―6436
日田出張所　日田市田島町698―1　TEL（0948）57―2056
宇佐連絡所　宇佐市大字岩崎字月原1186―3　TEL（093）512―7567

宮崎
宮崎支部　宮崎市花ケ島町南赤江町2108―7　TEL（097）556―6436

健康新聞についてのお問い合わせは（092）661―1531まで